

# 第62回日本心血管インターベンション治療学会(CVIT) 北海道地方会 開催にあたって



第62回日本心血管インターベンション治療学会 北海道地方会  
会 長 舟山 直宏 北海道循環器病院 循環器内科

このたび、第62回日本心血管インターベンション治療学会(CVIT)北海道地方会を開催するにあたり、大会長としてご挨拶申し上げます。

CVIT北海道地方会は、長年にわたり北海道におけるインターベンション治療の発展を支え、医師・メディカルスタッフが一堂に会して知識と経験を共有する重要な役割を果たしてまいりました。日常診療に直結した症例報告を中心に、世代や職種を越えた活発な議論が行われる本地方会は、実臨床に根ざした学びの場として、これまで多くの実りをもたらしてきたと感じております。

近年、PCIのみならず、EVT、ABL、SHDを含めたインターベンション治療を取り巻く環境は大きく変化しています。デバイスや技術の進歩により治療選択肢は拡大する一方で、患者背景の高齢化や多疾患併存により、より慎重で柔軟な判断が求められる時代となりました。どの領域でも「いかに治療するか」だけでなく、「本当に介入すべきか」「どのような治療が長期的に患者利益につながるのか」を常に問い直す姿勢が重要になっていると考えます。

このような背景を踏まえ、本地方会では、症例を通じた実践的な議論を重視し、治療戦略の選択や意思決定のプロセスを共有できる場とすることを目指しました。若手医師や研修医、メディカルスタッフの皆様にも積極的に参加していただき、日々の診療に活かせる視点や工夫を持ち帰っていただければ幸いです。

特別講演には、松波総合病院の上野勝己先生をお招きし、「ステントレス治療」をテーマにご講演いただきます。ステント治療が成熟期を迎える中で、ステントレス治療の位置づけや可能性について、豊富なご経験と深い洞察に基づいたお話を伺えることは、本地方会にとって大変意義深いものと存じます。先生のお話は、今後の治療戦略を考えるうえで、多くの示唆を与えてくださることでしょう。

一般演題および各セッションには、多くの先生方からご応募をいただきました。いずれも日常診療に即した内容であり、活発な議論を通じて、参加者相互の理解が深まることを期待しております。

本地方会が、北海道におけるインターベンション治療のさらなる発展につながるとともに、明日からの診療を見つめ直すきっかけとなることを願っております。最後に、本会開催にあたり多大なるご支援・ご協力を賜りました支部役員、会員の皆様、事務局、ならびに関係各位に心より感謝申し上げます。皆様のご参加と活発なご議論を心よりお待ちしております。